



# 議会だより

No. 69

2022年 2月1日発行

発行責任者：南魚沼市議会議長 塩谷 寿雄  
編 集：議会広報編集特別委員会

## 新生★南魚沼市議会 始動!!

定例会の録画映像を配信しています!

南魚沼市議会 録画配信

検索



### 目次

市議会「本会議」の仕組み .....	2 ページ
あなたの「やりたい」を実現させる拠点に「事業創発拠点」に関する条例 .....	3 ページ
一般質問 16名が市政を質す .....	4～12 ページ
令和3年第2回臨時会 .....	12 ページ
12月定例会 .....	13 ページ
議決結果 .....	14～15 ページ
3月定例会の予定 .....	16 ページ

市議会の  
ウェブサイトを  
こちら

議員の主な仕事は、本会議に出席して、審議・表決に参加することです。本会議で何を話し合い、何を決めているのか紹介します。

本会議は議員全員で構成され、本会議で決定された事項は市の「意思」となります。

本会議は、定例会と臨時会があります。定例会は、年4回（3月、6月、9月、12月）行われます。臨時会は必要がある場合に開かれます。

議会日程は議会前に議員で構成される議会運営委員会で決定されたあと、ウェブサイトで公開します。

## 議会の仕組み

## 「本会議」

市民の声を  
市政に反映させる

## 22人の議員は議会で何を決めているのか!?

録画映像配信しています

傍聴できます

議案  
審議市のお金の使い道や行政の  
さまざまなルールを決める

市長や議員から提出された議案を審議して、予算や条例を決めています。議決結果次第では、市民生活が制限される場合もあるので、慎重に審議します。

## 南魚沼市議会が議決する主な内容

- ・ 条例の制定、改正、廃止
- ・ 予算の決定、決算の認定
- ・ 予定価格が1億5,000万円以上の工事または製造の請負契約など
- ・ 副市長、監査委員の選任および教育委員の任命同意など

一般  
質問市政について市長に問う  
制限時間は1人60分

議員は定例会で市の行政全般のこと、市の状況や将来の方針などを市長に質問することができます。

一般質問をする議員はあらかじめ質問内容を示さなければなりません。質問内容を示しておかないと、答弁をする行政側が十分な準備をすることができず、議員にとっても満足な答えをもらうことができません。

一般質問内容はウェブサイト上で公開しています。

請願  
・  
陳情

市民の皆さんの要望や意見を国や県、市に伝える方法として請願や陳情があります。請願は議員の紹介が必要ですが、陳情はその必要がありません。

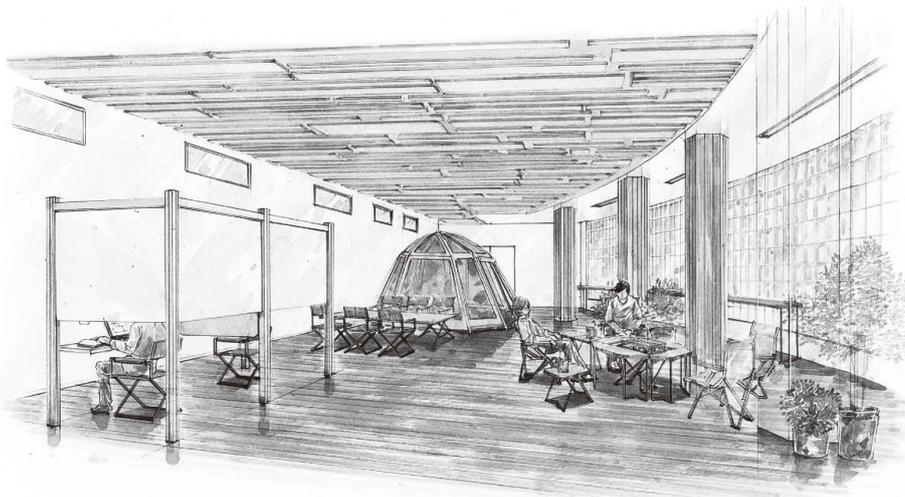
請願書・陳情書は、いつでも議会事務局で受付をしています。各定例会の議会運営委員会開催日の3日前までに提出されたものは、その会期中に審議されます。

# あなたの「やりたい」を実現させる拠点に

仕事をしたり、事業の相談をしたり、イベントを開催したり…誰もが気楽にドロップインでき、インターネット環境が整った、雰囲気の良いコワーキングスペースがJR六日町駅構内に今春誕生する予定です。

12月定例会で、事業創発拠点の設置や管理について規定した条例と事業創発拠点を運営する指定管理者の指定について審議を行いました。

第88号議案 南魚沼市事業創発拠点条例の制定について……………可決  
 第109号議案 南魚沼市事業創発拠点の指定管理者の指定について  
 (一般社団法人 南魚沼市まちづくり推進機構)……………可決



事業創発拠点は、講演会の開催や利用者同士が集まって、机や椅子のレイアウトを変えたり、自由な発想で使用することができます。

※イラストはイメージです

## 南魚沼市に

### イノベーションを引き起こす産業支援のプラットフォーム

市は、アルプス技研の創業者で最高顧問である松井利夫さん(南魚沼市出身)の寄附金を活用し、起業家育成や事業創発の推進を行っています。

この施設は、起業・創業、事業創発を目指す人々や、市内外の企業、教育機関等が利用できます。地域経済の成長につながる経営者の育成、地域産業の新たな価値を生み出す人材の発掘や事業者・企業間の連携等を促進するための拠点です。

### 常に世界規模の発想を

寄附者の松井さんは、南魚沼市の産業振興や経済活性化のために、起業家育成に貢献したいとの思いをお持ちです。地方創生には人材育成が重要であり、若い人は、地方にいても国内で満足せず、常に世界規模の発想をして欲しいと話されています。

## 質疑応答

Q&Aは一部のみ掲載しています。

### 【条例の制定について】

**Q** テレワークや新規事業を起こそうとする人はカフェを利用することがある。条文に飲食に関する文言がないが、この施設を安価に利用でき、飲食を提供すると民業圧迫になりかねないのでは。

**A** 飲食の提供については自動販売機の設置程度と考えている。上下水道の設備が整っていないため構造的に難しい。

**Q** 市民と市外の方の利用料金の差別化を図る予定は。

**A** 市内外から人を呼び込んで、ビジネスのつながりを広げていくためにも、市民と市外の方の利用料金に差はつけない。

**Q** 席数は何席か。また、囲ってあるスペースはあるのか。

**A** 席数は決まっていない。最大で30〜40席くらい。施設内でテントを張ったり、柔軟に動かせるようにする。

### 【指定管理者の指定について】

**Q** 南魚沼市まちづくり推進機構はこのような施設を運営してきた経験はあるのか。

**A** 運営してきた経験はないので、機構にとってもチャレンジだと思つ。

# 一般質問

Q & Aは一部のみを掲載しています。

## 質問順位

1. 永井 拓三
2. 寺口 友彦
3. 吉田 光利
4. 鈴木 一
5. 目黒 哲也
6. 勝又 貞夫
7. 田中せつ子
8. 中沢 道夫
9. 桑原 圭美
10. 塩川 裕紀
11. 中沢 一博
12. 川辺きのい
13. 黒岩 揺光
14. 梅沢 道男
15. 佐藤 剛
16. 大平 剛



**一般質問とは・・・**  
**議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いたすもの**

各議員の氏名の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



未来創政会

永井拓三

### 市の部活動の地域移行への取組方針は

**答** 子どもたちから機会を奪わないように検討を進める

**Q 質問** 実施要領に沿って、計画どおりに進んでいるか。

**A 教育長** 国や県の方針を踏まえ、部活動改革検討委員会の立ち上げを予定している。令和5年度からの段階的な地域移行に向けた準備を進めていく。

**Q 質問** 外部指導者の確保や、スポーツや文化活動の選定は。

**A 教育長** 13の部活動について、地域移行を検討する。外部指導者の確保は難しいが、地域の実情に合わせた持続可能な仕組みづくりに向けて協議を進める。

**Q 質問** 人件費等の予算はどのよう確保していくか。

**A 教育長** 受益者負担の観点から保護者負担を原則とし、市は

施設利用料の減免を行う。国からも何らかの方針が示されると考えるが、生徒すべてが希望する部活動に参加できるように検討を進める。

### 市の公的看板の維持管理方針は

**答** 安全で適正な管理に努める

**Q 質問** 看板の管理はどのように行ってきたか。

**A 市長** 紙の台帳による管理だが、このデータを地理情報システムに落とし込みデジタル化を進めている。これに基づき巡回などを行い、適正な管理に努めていく。

**Q 質問** 今後、老朽化した看板等はどのように維持していくか。

**A 市長** 危険が及ぶ恐れのあるものは、必要に応じて専門家の意見を聞き、早急に修繕や撤去を進めている。必要性の見直しを検討しながら安全で適正な管理に努める。





市民クラブ

## 寺口友彦



### 新たな学区再編計画を作れ

**答** 検討しなければいけない点は現計画に含まれている

**Q 質 問** 最近の出生数をみると少子化が加速している。公共施設の統廃合は合併後の市の課題のままである。子どもたちの教育によりよい環境を整備することが喫緊の課題である。新たな学区再編計画を策定する考えは。

**A 市長** 平成20年に作った学区再編計画から13年がたった。出生数の減り方が速い。令和6年度から新入生は400人を割り込み、令和8年度には300人の前半となる見込みである。かつての再編計画が現状に合わなくなってきた。再編計画にある「10年後の時」が今だと考えられる。地域との関わりを重視してきた結果、1学年2学級の実現をトーンダウンせざるを得なかった。再考しなければいけない点が含まれていると考えている。

### 余川地内六日町バイパスの都市計画化を

**答** 用途地域指定はまだしていない

**Q 質 問** 六日町バイパス余川地内800mが供用開始された。乱開発を防ぐためには計画が必要だ。中心市街地移転も含めて考えるべきでは。

**A 市長** 六日町バイパス沿線の見通し、農振地域の指定とともに、将来の人口規模に応じた市街地形成を考えなければいけないことから、無指定となっている。社会情勢の変化によって用途地域の変更も検討する必要があると考えている。

**Q 質 問** 今後の工事の予定はどうなっているのか。

**A 市長** 消防署側は工事が進捗し、庄ノ又側は調査設計業務が進められており、この数年間は前に向かっていく。



南魚みらいクラブ

## 吉田光利



### 松井基金の活用は寄附者の意向に沿った事業展開か

**答** 十分な検討を重ね迅速な対応を考えている

**Q 質 問** 南魚沼市チャレンジ支援事業の実績と今後の取組は。

**A 市長** 令和3年2月の審査会で5件の採択者を決定し、専門家の伴走支援だけでなく、市内外の起業家の交流や、専門的な知識を学ぶ機会として、起業家育成プログラムを設ける。今後3年で15組、年間5組を想定した支援を考えている。

#### チャレンジ支援事業

構想段階の事業や起業後間もない事業などを社会に実装させることを目的に、先進地で行う調査研究や新たな技術・アイデアの実証実験に必要な経費に対して補助金を交付する事業。  
補助金額は対象経費の10分の9以内で上限100万円。  
応募者の中から厳正に審査し、交付対象者が決定される。

**Q 質 問** 事業創発拠点を利用した起業・創業支援策の具体的な構想は。

**A 市長** 事業の種、アイデアの具

体化の支援やイベントの開催、各セミナーの場として、移住・定住希望者へのアピールと若者が地元に戻って、働きたいと思える場所につなげていきたい。

**Q 質 問** リゾートオフィス・田園都市構想の現状の取組は。

**A 市長** 起業家の人材育成、豊かな自然を生かしたリゾートワークによる交流、雪資源の活用等、市の総合計画と整合性をもたせた中で、計画の素案を作成中である。

**Q 質 問** 八海山麓スキー場、五日町スキー場、五十沢キャンプ場など市の資産・観光資源と松井基金をうまくマッチングさせてはどうか。

**A 市長** 松井さんも実際に見て、いいところと言っている。同感であり、距離感などいろいろ検討する必要があると思っている。



歩む会

鈴木

### 林業を生業として成り立たせる方策は

**答** 持続可能な林業を検討していきたい

**Q 質問** 地場産材の普及には、植林等森林資源の循環が必要

と考える。植林後、50〜60年経過した山林もこのままでは手つかずとなってしまう。製材所等の後継者不足も深刻である。先を考え、調査・研究を早急にやる必要があると考えるがどのように認識しているか。

**A 市長** 市内の森林地域は、急傾斜地が多く、雪害も多いこ

とから高品質の木材の産出割合が低い。これまで木材価格が低迷していたことから、自然災害防止等を目的とした整備を中心に行われてきた。年間の森林整備量が限られているため、整備が進まない。マンパワーも不足している。

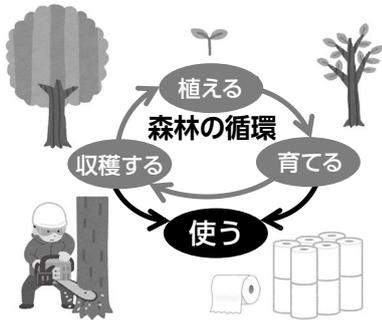


**Q 質問** 建築用材だけではなく木工なども考えていくべきではないか。

**A 市長** 現段階では考えていない。やはり建築用材への利用が一番大きいと考える。

**Q 質問** 火力発電への利用は考えているか。

**A 市長** 定住自立圏の中だけでは木材が足りない。十日町・津南地域、新潟県を合わせた中で考えていきたい。



森林は二酸化炭素を吸収することや、国土を災害から守る役割もあります。森林をきちんと整備し、木材を使うことが大切です。



南魚みらいクラブ

目黒哲也

### 道の駅「雪あかり」の今後の展開は

**答** 施設の拡充・拡張を検討していく時期に来ている

**Q 質問** 道の駅は道路利用者地域住民の交流を通じた地域振興が期待できる。そこで、今後の展開は。

**A 市長** 観光施設は、常に新しいことを狙って、手を加えていく必要がある。感染予防対策として、マイカーの利用が増えており、「雪あかり」の利用者の増加にもつながると思う。総合的に経営する組織をつくるべきであると考えている。

**Q 質問** 災害時の一時避難所や復旧支援の拠点として、防災機能を備えた整備を進めてはどうか。

**A 市長** 洪水ハザードマップでは、魚野川が氾濫した場合、浸水想定が0.5m〜3m未満の区域であり、令和元年の台風19号では、関・姥島地内の護岸が欠損



被害にあった。魚野川増水時や地震時に堤防機能の安全面から現状のままでは、積極的な活用は難しいと考えている。非常に大きな場所であり、防災拠点に準じる場所として整備し、位置づけることは検討したい。

### 障がい者向け住宅整備補助の市独自制度を制定しては

**答** 今ある制度を有効に活用してもらいたい

**Q 質問** 豪雪地域である当市は高床式住宅が多い。一方で事故や病気等で歩けなくなった場合、介助やホームエレベーター等に頼らないと自宅に入れなくなる。雪国特有の住環境整備への支援が必要では。

**A 市長** 障がい者ばかりでなく高齢者にとっても重要な課題である。市では、障がい者や高齢者の住宅整備に対して、日常生活用具給付事業、みんな住マイル改修補助事業等を実施している。



歩む会

## 勝又貞夫



### 新型コロナウイルス感染拡大についての対策は

**答** 基本的な感染対策が重要だ

**Q 質 問** 新型コロナウイルスの感染を判定する方法として、PCR検査によるもので十分と考えているか。

**A 市 長** PCR検査のみではなく、発熱症状がある場合、医師の判断で抗原検査による判定が行われる。検体を採取した時点の陰性・陽性がわかるのがPCR検査であり、感染していても陽性判定が出ないこともあるので、最初から十分とは思っていない。

**Q 質 問** 感染と発症の関係について、市はどのように認識しているか。

**A 市 長** 飛沫・接触による感染が多い。予防するためには基本的な感染対策が大切である。潜伏期間は5〜14日間とされ、無症状感染者が20〜30%と考えられて

いる。感染者の約40%は、発症から1週間程度で治癒に向かう。残りの方は、発症から1週間程度で肺炎症状が明らかになり、約20%が酸素投与が必要になる。約5%が人工呼吸器の治療を要している。

**Q 質 問** ワクチンの効果とその副作用について、市はどのように考えているか。

**A 市 長** ワクチン接種が進むにつれて、高齢者の感染割合は減少した。これが効果だと思つ。接種後の副反応の調査はしていない。

**Q 質 問** 市内で新型コロナウイルス感染症の患者が相次いで確認されているのは、何が原因と考えられるか。

**A 市 長** 感染経路は明確であり、その大半が濃厚接触者からの感染で、そのほかには広がっていない。ワクチン接種しても、100%感染を防げるものではないことはわかっている。



市民クラブ

## 田中せつ子



### 経済困窮者への就学援助制度の拡充を

**答** 他の自治体も参考にして検討していく

**Q 質 問** 就学援助制度を受けるには、スキー用具や柔道着の体育実技用具費は領収書の提出が必要だが、購入できない家庭もある。他市のように定額支給やスキー用具のレンタル料も認めるべきでは。

**A 教育 長** 体育実技用具は知人から譲り受けることも可能だ。スキー用具のレンタル料は対象となるよう検討が必要である。

**Q 質 問** 中学校の部活動費は保護者の負担が大きい。クラブ活動費や卒業アルバムにも支援を広げられないか。

**A 教育 長** 自治体の裁量によるので差がある。県内全体では対象にしている自治体は多くない。状況をみて見直しをしていく。

### 地域食堂とみんなの居場所づくりへの支援を

**答** コロナ禍だからこそ必要な活動と認識している

**Q 質 問** 飲食店での子ども食堂や、社会福祉協議会による地域食堂立ち上げ準備が進んでいる。生活困窮支援とフードロス対策、さらに孤立を防ぐコミュニティづくりにも、多くの市民が関心を寄せている。市はどのような支援と連携を進めるか。

**A 市 長** コロナ禍で虐待や孤立等の心配が増しており、地域食堂の活動は、コロナ禍だからこそ必要な活動であると認識しているが、地域住民の皆さんの意識の醸成と機運の高まりが必要である。地域での十分な議論を得たうえで、行政は上意下達にならないよう慎重になるべきと考える。



日本共産党議員団

# 中沢道夫



## 市民病院の指定管理で医師不足の解消ができるのか

**答** 指定管理ありきではない

**Q 質 問** 日本の医師数がOECD諸国の平均と比べても総数で約14万人も少ない現状を抜本的に変えることが必要ではないか。

**A 市 長** 言うは易く行うは難しで、簡単にはいかない。

**Q 質 問** 研修プログラムの充実や市の魅力発信などで、市内で働く医師・研修医を増やす取組が必要ではないか。

**A 市 長** 研修や勤務環境、子育てや教育環境などの充実が必要である。

**Q 質 問** 医師の絶対数が不足する中でいくら大きな組織に指定管理を依頼しても、医師不足の解消は考えにくい。

**A 市 長** あくまでも公立でいくことを前提に努力している。

公立病院を守り抜く。

## 喜らし続けられる医療体制の整備が必要では

**答** そのために検討委員会を立ち上げ進めてきた

**Q 質 問** 魚沼医療圏域全体の病床数は、県が推計した必要病床数に比べて不足している。病床機能の転換だけでは済まないのではないのか。

**A 市 長** 推計値ではそれぞれの病院が必要とする数を上回っている。重要なことは医療機関の役割分担だ。機能別の病床数は検討する必要がある。

**Q 質 問** 高齢になっても住み慣れた地で住み続けられる体制整備は、市の役割ではないか。

**A 市 長** そのとおりだと思う。そのために医療のまちづくり検討委員会を立ち上げ、基本的方針を示せるまでになっている。



南魚みらいクラブ

# 桑原圭美



## 大原運動公園テニスコートの整備を

**答** 構想はずっと頭の中にある

**Q 質 問** テニスの大会や合宿の実施状況は。

**A 教育 長** 令和元年度は2万5,243人の利用があり、大会が28回。大会の参加者は9,672人。合宿は22件で3,561人の利用があった。

**Q 質 問** 大会の開催、合宿の実施度に対する考えは。

**A 教育 長** 非常に多くの利用をいただいており、市内の宿泊業や飲食業にとって重要な誘客施設として市内経済の活性化に貢献していると考えている。

**Q 質 問** 市内の愛好家や宿泊業者が不満なく利用できているか。

**A 教育 長** 合宿や大会が多い期間は利用しづらい日もあるが、

愛好家からは長年の経験から混雑を避けて利用いただいている。宿泊業者は、指定管理者が調整をしているので大きな混乱はない。

**Q 質 問** 今後の大原運動公園テニスコートの整備に対する考え方は。

**A 教育 長** 高体連と協議をし、老朽化した芝の張替えを最優先とした。管理棟については、冬期間の管理体制や、設置位置等の整理が必要と考える。

**Q 質 問** 管理棟を建設する場合の予算確保や実施の見通しは。

**A 教育 部長** 時期は未定だが、必要性はある。現状では、スポーツ振興くじ助成金は使えないが、新しい助成金などに期待しながら検討していく。





南魚みらいクラブ

## 塩川裕紀



### 高齢者による運転事故を防ぐためのさらなる支援は

**答** 自主返納だけを求めても解決できない大きな問題である

**Q 質問** 全国各地で高齢者の自動車運転による死傷事故が多発している。75歳以上の高齢ドライバーが加害者となる死亡事故は後を絶たず、昨年は333件発生している。原因別ではアクセルやブレーキの操作ミスが最も多く、96件を占めた。

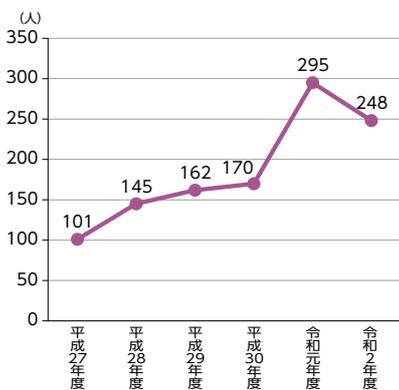
事故防止には加齢による運転技能の衰えを的確に把握し、早めに対処することが不可欠である。高齢者が加害者となる悲惨な事故を防ぐためにも、早期に運転免許証を返納していただく策を講じ、返納後も安心して生活できるように、交通の便に恵まれない地域への支援の充実を図っていかねければならない。新たに市独自で自動車の誤発進防止システムなど、後づけできる装置の購入に対する補助を

行つてはどうか。

**A 市長** 自主返納支援事業の申請者は年々増加している。年齢別では70代から80代が最も多く、9割となっている。首都圏と違い、この地域はほとんどの人が自動車を運転しているので、免許証を返納するということはつらい判断だ。公共交通機関もかゆいところに手が届いていない。

購入助成に関しては、できることはやっていきたいが、まずは家族で真剣に考えていただきたい。

南魚沼市 自主返納支援事業利用者数



未来創政会

## 中沢一博



### デジタル化の積極的な推進を

**答** 大切なことであり、熱意をもって検討していく

**Q 質問** 市内の5Gの基盤整備状況は。

**A 市長** 大手通信業者が今春以降に市内でサービスが開始できるとして整備を進めている。

**Q 質問** マイナンバーカードの普及促進を。

**A 市長** 取得率増加の取組として、庁舎の時間外・日曜窓口を月2回実施している。また事業所・地域団体・行政区への出張申請も実施している。多くの市民への普及に努めたい。

**Q 質問** 高齢者向けの無料スマホ講習会の促進を。

**A 市長** 生活弱者にならないためにも、高齢者へのスマホ講習会は必要と感じている。民間業者への配慮を考えた中で、検討し

ていきたい。

**Q 質問** 地域通貨の導入で地域活性化を。

**A 市長** 地域通貨の導入は、昨年度から検討を始めている。今年度にはプロジェクトチームを立ち上げ、先進地域の視察など、導入に向けて前向きに検討を進めている。

### UIターン促進に奨学金等返還支援制度の創設を

**答** 国と同様な制度を創設する必要があるか検討する

**Q 質問** UIターンを促進するためにも、定住などを条件に企業や自治体が奨学金の一部を肩代わりする支援制度の創設が必要と考えるが。

**A 市長** 公平性を考えた中で検討していく必要がある。



日本共産党議員団

# 川辺きのい



## 低所得者にとどまらない燃料費補助が必要では

**答** 国・県の動向を注視しながら事態を捉えて対応していく

**Q 質** 国は「地方自治体が生活者や事業者の支援に不安なく取り組めるよう財政支援をしっかりと行っていく」と述べている。福祉灯油だけではない燃料費の補助が、健全な経済循環にとっても必要と考えるが。

**A 市長** 市内の産業全般にわたって原油価格の高騰による影響が心配される。新潟県では、中小企業金融相談窓口において、原油価格高騰に対応した融資や資金繰り等の支援を行っている。商工会やにいがた産業創造機構でも、経営相談窓口を設置している。国・県の動向を注視し、情報収集に努め、事業者への支援の周知を徹底していく。また市民生活や地域経済を守るべきときには、必要に応じて果敢に取り組んでいく。

## 移動販売車の復活、拡充を

**答** 医療のまちづくりプロジェクトで鋭意検討中である

**Q 質** 塩沢地域で運行されていた移動販売車がなくなり、復活を望む切実な声が上がっている。これを復活させ、これまで運行されていなかった地域にも拡充させる意義は大きいと考えるが。

**A 市長** 移動販売車を運行することとは、単に買い物支援にとどまらない。健康や命を守る、新たな職をつくる、地域のコミュニケーションをつくるといった観点からも、非常に重要だと考えている。現在、上田地区をモデル地区として、郵便局を拠点に、コンビニエンスストアや地域のスーパーと連携させ、移動販売車を運行できないか具体的な検討に入っている。

## 子育て世代の移住者を呼び込めない支援をしていきたい

**答** 出産・子育て・教育、切れ目のない支援をしていきたい

**Q 質** 市長が、移住促進を担当するU&Iときめき課を設置してから、5年が経過した。雪の利活用事業などで、移住者の呼び込みをしてきたが、令和2年度は、転出者数が転入者数を492人上回り、過去最高を記録した。その分析は。

**A 市長** コロナ禍での出入国制限により、国際大学の学生やその家族、外国人技能実習生らの転入が減ったことが大きい。

**Q 質** 市外へ転出した方たちの転出先のデータはあるか。

**A 市長** 県内が4割で、新潟市、長岡市、魚沼市の順が多い。4割が関東圏で、2割が海外である。

**Q 質** 十日町市の「めぐらんど」のような、小学生まで楽しめる全天候型遊戯施設を造るなどして、出生率を上げるだけではな



無所属

# 黒岩揺光



く、子育て世代の移住者を呼び込めないか。

**A 市長** 旧第二上田小学校を子どもも利用できる全天候型の体育施設にしたいと思っている。

## 水道料金値下げの公約はなぜ未達成のままなのか

**答** 水道事業への影響額が非常に大きく、公約実現は困難

**Q 質** 平成28年の市長選で市長が公約した水道料金の基本料金1,000円値下げは、なぜ、まだ未達成のままなのか。

**A 市長** 1,000円値下げはできなかったが、平成30年度から令和2年度まで、全世帯1か月当たり215〜220円値下げした。

**Q 質** 今年度の市報で水道料金改定に触れたが、いつから、どんな料金体系になるのか。

**A 市長** 令和4年度中に、何かしらの指針を議会に提出したい。



市民クラブ

## 梅沢道男



**ICT教育には、専任者や電子黒板の配置が必要では**

**答** 大切な課題として検討し、今後計画的に進めたい

**Q 質問** ICT環境の整備を進めるには、ICT専属の管理指導主事の配置が必須ではないか。

**A 教育長** ICT機器は、有効活用とともに危険性もはらんでいる。ICT教育に堪能な指導主事等の配置も検討しなければならぬが、人材配置の難しさもあり、大切な課題として検討している。

**Q 質問** ICT教育の推進には、各教室への電子黒板の配置が必須になると考えるが、今後の導入計画は。

**A 教育長** 電子黒板はICT教育による学びの変化に対応するため、ぜひ必要な機器であり、モデル校（小中各1校）に3学期から導入し、この取組を基に課題を検討し、導入計画を策定していく。

**タブレットの持ち帰り体制の整備は進んでいるか**

**答** インターネット環境の整備が難しい家庭への対策を進める

**Q 質問** オミクロン株の感染拡大に対応するためにも、端末の持ち帰り可能な体制の整備を急ぐ必要があると思うが、今後の導入計画は。

**A 教育長** 家庭でのタブレット端末の利用には、学校同様の無線のインターネット環境が必要なため各家庭の調査を実施したが、インターネット環境の整備が難しい家庭も一定数存在している。

そのため、今後公共施設にWiFi環境を整えるなど、学校以外でもタブレット端末を接続できる環境整備が必要と考えている。

※ICT教育とは、パソコンやタブレット端末、インターネットなどの情報通信技術を活用した教育手法である。



市民クラブ

## 佐藤剛



**市民の命と健康を守る地域医療をどう進めるか**

**答** 多職種で連携して、在宅療養を支援しながら進める

**Q 質問** 医療資源が少ない地方では、患者の状態に応じて医療機関が連携することで効率的な医療を目指せる。そのためには、医師会を含めた地域ぐるみの連携が必要である。具体的な病病連携、病診連携をどう進めたのか。

**A 市長** 大和病院、市民病院とも魚沼医療圏域の中でそれぞれが果たすべき役割において、各医療機関との連携が高まってくよに進めてきた。医師会とは開業医との病診連携だけでなく、医療のまちづくりの方針に沿って新たな取組も進めたいと考えている。

病病連携：病院同士が連携して患者の診療にあたるもの  
病診連携：病院や診療所が役割を分担し患者を紹介し合うこと

**在宅療養では家族の負担や在宅患者への医療、介護の総合的な対応の難しさがある。在宅療養を可能にする介護を含めた医療連携をどう進めるか。**

**答** 行政、医療機関、地域、介護保険事業所などが連携しながら進めることが必要である。各地域の資源を活用し、各種生活支援機能を持つ「小さな拠点」づくりの検討を行い、行政や各機関が連携した支援体制を進めたい。

**Q 質問** 魚沼市では、地域包括ケアシステム基本構想を策定し、3つの日常生活圏を設定して実情に合った整備を進めているが、当市はなぜ進まないか。

**A 介護保険課長** 市では魚沼市のような体制はとっていない。介護保険事業を進めていくために、地域包括ケアシステムを深めていく。



未来創政会

大平

剛



**モデル地区をつくり里山の整備を**

**答** 非常に有効な手段であると考え

える

**Q 質問** 最近の獣害の増加をみるに、捕獲等による頭数管理が必要だと考えるが。

**A 市長** 地域個体群の長期にわたる安定的維持を図り、生息数を適正な水準に管理して、人身被害の防止や農林水産業への被害を低減するよう努めていく。

**Q 質問** 電気柵は獣害対策において有用であるが、補助を受けるための条件をクリアできないケースがある。もう少し条件を緩和した市独自の補助制度をつくる必要性があるのではないか。

**A 市長** 電気柵設置に関する支援については、国の補助金などで設置費用が全額保証されており、地元負担金が生じない、よい制度と考えている。国の補助制度

を活用しながら、市独自の補助制度が必要かどうか判断していきたい。

**Q 質問** 民有地を含めた里山の整備を今後どのように進めていくか。

**A 市長** 民有林保育事業があり、国・県が60%、市が20%の補助を出し、80%の補助事業として取り組んでいるがそれでも進まない。提言があれば聞く。

**Q 質問** 例えば、モデル地区をつくり、里山を整備するのに9割10割の補助を出し、5年間など長期で成果を示すやり方もあるのではないか。

**A 市長** 議員の言う手段は非常に有効であると考ええる。まだやることは言えないが検討していく。

議会だより臨時号はこちらから↓



第2回臨時会は11月9日に行われ、新たな議会が誕生しました。議会構成の詳細は12月1日発行の議会だより臨時号をご覧ください。また、議案審議も行いました。 Q & Aは一部のみ掲載しています。

**令和3年 第2回臨時会**

**令和3年度南魚沼市一般会計補正予算（第8号）  
9,941万5,000円追加し、332億5,904万円に**

市独自の新型コロナウイルス対策事業

● 商業振興補助事業費 1億190万円

南魚沼市がんばる事業者特別支援金

対象 飲食業・宿泊業などの事業者

回数 1事業者につき1回

- ・ 国の雇用調整助成金や緊急雇用安定助成金、県の飲食関連事業者等への事業継続支援金の受給者 30万円
- ・ 営業時間の短縮に協力した飲食業者への感染拡大防止協力金の受給者 10万円

**Q** 南魚沼市がんばる事業者特別支援金の予算の見積りを570事業者とした根拠は。

**A** 雇用調整助成金が150事業者、新潟県の継続支援金の受給者が70事業者、新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の受給者が350事業者と見積もった。

**Q** 財政調整基金の繰入金金が2千万円あるが、1億円を超える予備費があるならそれを使うべきではないか。

**A** 9月議会の補正予算で、1億円を今後の新型コロナウイルス感染症の対策費として、財政調整基金に積み立てた分を取り崩して充てている。予備費は、除雪・災害に備えている。

# 12月定例会

12月定例会は12月6日～17日に開かれました。  
3ページの事業創発拠点条例のほか、補正予算などを審議しました。

Q&Aは一部のみ掲載しています。

## 令和3年度南魚沼市一般会計補正予算（第9～12号）

# 18億9,495万6,000円追加し、351億5,399万6,000円に

### 【補正予算（第9号）】

#### 新型コロナウイルススワクチン事業

● 予防対策事業費 2億3,495万円  
● 会場借上料800万円は、何に必要なのか。

● 現在、新型コロナウイルスのスワクチン接種は、雪国スポーツ館で行っているが、もう少し六日町に近く、利便性のいい施設を検討しているため。

● 会場費用は国の負担とのことだが、金額を抑える必要があると思うが。

● 県からの指導で不足することがないようにとの話があり、ある程度余裕をもって積算した結果となっている。

● タクシー等借上料の対象者は、どのような人までと考えているか。

● 障がい者手帳を所持した人で、会場まで行くのが難しい人は、すべて対象とする方向で精査している。

● コールセンターの委託料のほかに電話料489万円が計上されているが、どのような経費か。

● ワクチン接種がスタートすると問合せが多く、その場で答えられない質問もある。折り返しの電話や、国・県への照会などの通話料である。

### 【補正予算（第11号）】

● 固定資産税 1億1,000万円

● 補正予算で歳入の固定資産税を増額した理由は。

● 主に家屋と償却になるが、特に償却については新型コロナウイルスの影響もあり、当初予算では、新しい投資が早々生まれにくいという見込みで、低めに計上していたものが、それほど落ち込まなかったため。

● 体育施設整備事業費 50万円

● 旧第二上田小学校の体育館は改築後、どのような活用を考えているのか。

● 野球、フットサル、サッカー、硬式テニス、ゴルフ等の球技を室内でできる施設にすることを検討している。

#### 市独自の新型コロナウイルス対策事業

● 観光振興事業費 6,830万円

● 索道事業者緊急支援金は、他の事業者への支援と比較して算定したのか。

● 索道の点検費、維持費等の調査を基本とした。3人乗り以上のリフトは、維持費等も高額となることから、財政的な観点も含めて決定した。

### ◆ 第89号議案 南魚沼市職員定数条例の一部改正について

市民病院の経営改善策として、急性期病床を地域包括ケア病床や回復期リハビリテーション病棟に転換するために、専任の医師やリハビリ療法士等の増員が不可欠であり、職員の定員を50人増やすというもの。

● 一気に定員を50人増やさなくてもよいのでは。

● 今の条例では採用枠が足りない。今すぐ50人増員するわけではないが、今後様々な職種が必要になるため、将来を見据えた定員数としたい。

## 討論

反対

賛成

市立病院群の将来像がはっきり見えないうち、50人もの病院職員の定数増には賛成できない。

経営改革を進めるための必要ない。条例改正である。

### ◆ 賛成多数で可決

# 令和3年第2回臨時会の全議決結果

議決結果の詳細はウェブサイトでご覧いただけます→



議案番号	市長提出議案	議決結果
第23号報告	専決処分した事件の承認について（令和3年度南魚沼市一般会計補正予算（第8号））	承認（全会一致）
第79号議案	財産の取得について（スポ備第2号 欠之上クロスカントリーコース圧雪車 1台）	可決（全会一致）
第80号議案	南魚沼市監査委員の選任について（関 常幸氏）	同意（賛成多数）
第81号議案	南魚沼市固定資産評価審査委員会委員の選任について（大竹 一夫氏）	同意（全会一致）
議案番号	議員発議案	議決結果
発議第9号	南魚沼市議会委員会条例の一部改正について	可決（全会一致）
発議第10号	特別委員会の設置について（議会広報編集特別委員会）	可決（全会一致）

## 賛否一覧表

起立採決等によりそれぞれの賛否が明らかにされ、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表示しています。

○＝賛成    ×＝反対    －＝退席    欠＝欠席    除＝除斥

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

※除斥（じょせき）とは、議案と一定の利害を有する議員は、議案審議に参加することができない制度です

議案	氏名	南魚みらいクラブ							歩む会			市民クラブ				未来創政会			日本共産党議員団	無所属				
		目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	桑原圭美	小澤実	黒滝松男	関常幸	勝又貞夫	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	大平剛	永井拓三	中沢一博	川辺きのい	中沢道夫	黒岩揺光	
臨時会	第80号議案	○	○	○	○	○	○	○	除	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
12月定例会	第86号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	第89号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	※	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
	第102号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	第103号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	第104号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	第109号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×

## QRコードの読み取り方法

① QRコードをスマホやタブレットで読み取ります。

② 議会の録画映像配信や市議会のウェブサイトが出てきます。



録画映像配信は、Wi-Fi環境下をおすすめしますがセキュリティ保護下であることをご確認ください。



議会だよりにより多くのQRコードを掲載しています。ぜひ、ご利用ください。

※3月1日より、市ウェブサイトが更新されるため本誌掲載のQRコード（録画映像配信を除く）が使用できなくなります。ご理解をお願いします。

# 令和3年12月定例会の全議決結果

議決結果の詳細は  
ウェブサイトをご覧ください→



議案番号	市長提出議案	議決結果
第24号報告	専決処分した事件の承認について(令和3年度南魚沼市一般会計補正予算(第9号))	承認(全会一致)
第25号報告	専決処分した事件の承認について(令和3年度南魚沼市一般会計補正予算(第10号))	承認(全会一致)
第82号議案	令和3年度南魚沼市一般会計補正予算(第11号)	可決(全会一致)
第83号議案	令和3年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第84号議案	令和3年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第85号議案	令和3年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第86号議案	令和3年度南魚沼市病院事業会計補正予算(第2号)	可決(賛成多数)
第87号議案	令和3年度南魚沼市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第88号議案	南魚沼市事業創発拠点条例の制定について	可決(全会一致)
第89号議案	南魚沼市職員定数条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第90号議案	南魚沼市税条例の一部改正について	可決(全会一致)
第91号議案	南魚沼市国民健康保険条例の一部改正について	可決(全会一致)
第92号議案	南魚沼市学齢児童生徒の就学援助条例の一部改正について	可決(全会一致)
第93号議案	南魚沼市露店市場管理条例の一部改正について	可決(全会一致)
第94号議案	南魚沼市六日町駅自由通路・シンボル空間条例の一部改正について	可決(全会一致)
第95号議案	新潟県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	可決(全会一致)
第96号議案	市道の路線認定について	可決(全会一致)
第97号議案	市道の路線変更について	可決(全会一致)
第98号議案	南魚沼市可燃ごみ処理施設附属施設「金城の里」の指定管理者の指定について(有限会社 まちだプランニング)	可決(全会一致)
第99号議案	上町保育園の指定管理者の指定について(学校法人 里咲学園)	可決(全会一致)
第100号議案	認定こども園めぐみ野こども園の指定管理者の指定について(社会福祉法人 野の百合福祉会)	可決(全会一致)
第101号議案	五十沢キャンプ場施設の指定管理者の指定について(一般社団法人 五十沢キャンプ場)	可決(全会一致)
第102号議案	八海山麓観光施設の指定管理者の指定について(株式会社 アクティ)	可決(賛成多数)
第103号議案	南魚沼市農業体験実習館「レイホー八海」の指定管理者の指定について(レイホー八海管理組合)	可決(賛成多数)
第104号議案	南魚沼市モンスターパイプの指定管理者の指定について(南魚沼市モンスターパイプ管理組合)	可決(賛成多数)
第105号議案	南魚沼市教育委員会委員の任命について(西野 仁氏)	同意(全会一致)
第106号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について(中島 澄江氏)	同意(全会一致)
第107号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について(杉岡 明全氏)	同意(全会一致)
第108号議案	令和3年度南魚沼市一般会計補正予算(第12号)	可決(全会一致)
第109号議案	南魚沼市事業創発拠点の指定管理者の指定について(一般社団法人 南魚沼市まちづくり推進機構)	可決(賛成多数)
議案番号	請願・陳情	議決結果
陳情第4号	新型コロナウイルス罹患後と同ワクチン接種後の健康状態調査についての陳情	不採択(全会一致)
議案番号	議員発議案	議決結果
発議第11号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書の提出について	可決(全会一致)

## 3月定例会 予告

次の定例会は2月28日～3月17日の予定です。

## 3月 議会カレンダー (予定)

この予定は変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

2月28日	月	本会議	7日	月	本会議 (一般質問)	14日	月	本会議 (予算審議)
3月1日	火	本会議	8日	火	本会議 (一般質問)	15日	火	本会議 (予算審議)
2日	水	社会厚生委員会	9日	水	本会議 (一般質問)	16日	水	予備日
3日	木	産業建設委員会	10日	木	本会議 (予算審議)	17日	木	本会議
4日	金	総務文教委員会	11日	金	本会議 (予算審議)			

傍聴の  
ご案内

☆3月定例会は令和4年度の予算審議もあります。ぜひ生の議会を見に来てください!

本会議は、9時30分から市役所本庁舎3階議場で行います。どなたでも傍聴できます(ただし、児童の傍聴には議長の許可が必要となります)。詳しくは、議会事務局(☎773-6650)までお問い合わせください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴の際はマスクの着用をお願いしています。

## 私たちが、新しい議会広報編集特別委員会です!

目黒哲也委員 塩川裕紀委員 梅沢道男委員 大平剛委員  
黒岩揺光副委員長 勝又貞夫委員長 川辺きのい委員最高のチームワークで  
頑張りますので、どうぞ  
よろしくお願いたします!議会だよりに対するご意見、  
ご感想をお待ちしています!

【宛先】

議会事務局(☎773-6650)

入力フォームを  
ご利用ください。➡次回の  
議会だよりは  
5月1日  
発行予定です

編集後記

昨年10月の市議会議員の改選を経て、議会広報編集特別委員会も新体制でスタートしました。新人議員も加わり、新しい目線を取り入れて、広報誌のイメージを刷新したいと思えます。

議会だよりは市民の皆様から、その基本を忘れることなく、より読みやすい紙面構成にするよう努めてまいります。

委員長 勝又 貞夫